

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 気管食道分離術における気管腕頭動脈瘻 (TIF; trachea-innominate artery-fistula) の予防と対策

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 山本貴道

[研究責任者] 鈴木恵理子 (呼吸器外科・医師)

[研究の概要]

■ 目的・方法 (研究期間も含む)

研究期間：2023年9月13日～2023年12月31日

目的：当院では誤嚥性肺炎のリスクが高い重症心身障害児に対し、誤嚥防止手術として気管食道分離術を施行している。手術後の重大な合併症として気管腕頭動脈瘻 (TIF ; trachea-innominate artery-fistula) があり、特に胸郭変形の著しい重症心身障害児には発症リスクが高い。よって2011年以降は術前にTIF発症リスクの程度を判断し、手術での対策を行っている。また2011年以前に気管食道分離術を施行した症例に対しては再評価を行い、必要に応じてTIF発症予防の手術を行っている。

本研究では、TIF発症と術式の関連について考察し、TIFの発症予防に有用な方法を検討する。

方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究

■ 対象となる患者さん

2005年1月～2022年12月に当科または他院で気管食道分離術を施行した方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：研究対象者について、以下の臨床情報を診療録から取得する。

- ①臨床所見 (年齢、性別、身長、体重、病歴に関する情報 等)
- ②血液所見 (肝腎機能、白血球分画 等)
- ③画像所見 (胸部レントゲン, CT 等)
- ④治療 (術式、感染予防策 等)
- ⑤合併症・予後 等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

(様式 17)

研究番号	第 23-31
------	---------

鈴木恵理子、呼吸器外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971